

新春を迎えて

川越市長 川合善明



明けまして

おめでとうございます

市民の皆様におかれましては、健やかで輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年2月に、川越市長としての2期目がスタートいたしました。これまで培った経験と実績を基に、初心を忘れることなく、市政発展のため全力で取り組んでまいります。

昨年9月、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が、東京に決定いたしました。オリ

ンピックのゴルフ競技は、市内の霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催される予定となっております。これを契機に、国内はもとより、世界各国の方々にも、川越の魅力を知っていただけるよう積極的に情報を発信してまいります。初めて川越を知った方が「いつか、一度訪ねてみたい」と思い、また、市民の皆様が「住むことに誇りを持ち、住んでよかつたと思えるまち」となるよう、さらに魅力あるまちづくりを進めてまいります。

2期目においては、特に重要と考える施策を明確に打ち出し、スピード感を持って推進するため、次の「4つの川越づくり」と第三次川越市総合計画後期基本計画に掲げる小江戸かわごえ重点戦略を連携させて、事業を推進してまいります。

子育てが楽しい川越づくり

待機児童対策として、3つの民間保育所の新築・改築に対する補助の実施により、4月から保育所の定員が135名増加いたします。また、「こども医療費」につきましては、

小学6年生までとしておりました通院助成の対象を、今月から中学3年生までに拡大いたします。

活力と魅力ある川越づくり

この春に、川越駅西口駅前広場の改修が完了し、川越の新たな顔として大きく生まれ変わります。西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)整備事業につきましては、来年春の施設オープンに向けて、建設を進めてまいります。早期整備が必要な新斎場につきましては、周辺整備と並行して取り組んでまいります。このほか、都市計画道路や新河岸駅周辺などの都市基盤整備を着実に進めてまいります。また、市街地での移動手段の多様化を図るために実施している川越市自転車シェアリングをはじめ、自転車利用の促進にも取り組んでまいります。

快適で安心できる川越づくり

公共施設の防災対策として、災害時に防災中核拠点となる市役所本庁舎の耐震化を進めてまいります。ま

た、教育環境の改善と充実を図るため、老朽化が進行する小中学校の大規模改造工事やトイレ改修工事を計画的に実施してまいります。生活道路での交通事故を未然に防止するため、区域内の最高速度を時速30kmとする「ゾーン30」を実施するとともに、子どもたちを交通事故から守るため、通学路の安全対策を進めてまいります。

持続可能な都市、川越づくり

厳しい財政状況の中、必要な事業を着実に推し進めるため、引き続き行財政改革を強力に実行してまいります。また今後、公共施設の老朽化が進み、改修や更新にかかる費用の増大が予想されるため、公共施設マネジメント白書の内容を踏まえ、(仮称)整備更新計画の策定に取り組んでまいります。

今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。